



2013

<http://www.city.sapporo.jp/chuo/>

地域FM番組

「中央区だより」毎週金曜11時30分～
ラジオカロスサッポロ (FM 78.1 MHz)

編集：中央区市民部総務企画課広聴係
〒060-8612 札幌市中央区南3条西11丁目
☎011-205-3216 ㊟011-231-6539

市長と語ろう！中央区のまちづくり



ふらっとホーム 2012 ^{イン} 中央区

中央区役所関連施設

【市コールセンター ☎ 222-4894】

中央区役所 (南3西11) (代表) ☎ 231-2400
中央保健センター (南3西11) ☎ 511-7221
中央区土木センター (北12西23) ☎ 614-5800
中央区民センター (南2西10) ☎ 271-1100
旭山公園通地区センター (南9西18) ☎ 520-1700

大通公園 (北1西9)
東北 (北2東2)
苗穂 (北1東10)
東 (南2東6)
豊水 (南8西2)
西創成 (南5西7)
曙 (南11西10)

まちづくりセンター

☎ 251-6353
☎ 251-8119
☎ 261-3669
☎ 241-1696
☎ 521-0204
☎ 521-2384
☎ 511-0116

山鼻 (南23西10) ☎ 511-6371
幌西 (南11西14) ☎ 561-3256
西 (南6西13) ☎ 561-7124
南円山 (南9西21) ☎ 561-2472
円山 (北1西23) ☎ 611-3367
桑園 (北7西15) ☎ 621-3405
宮の森 (宮の森2-11) ☎ 644-8760

----- 中央区役所の主な課・係 (8時45分～17時15分 (土・日曜、祝・休日、年末年始を除く)) -----

総務企画課

庶務係 ☎ 205-3205
地域安全担当 ☎ 205-3205
選挙係 ☎ 205-3206
広聴係 ☎ 205-3216
地域振興課 ☎ 205-3221
統計担当係 ☎ 205-3222

戸籍住民課

戸籍係 ☎ 205-3232
住民記録係 ☎ 205-3238
保健福祉課
地域福祉係 ☎ 205-3301
福祉助成係 ☎ 205-3302
給付事務係 ☎ 205-3303

福祉支援係 ☎ 205-3304

保健支援係 ☎ 205-3305
健康・子ども課
(保健センター内) ☎ 511-7221
保護課
相談担当係 ☎ 205-3274

保険年金課

給付係 ☎ 205-3341
保険係 ☎ 205-3342
収納一・二係 ☎ 205-3343
年金係 ☎ 205-3344

市税に関するお問い合わせは **中央市税事務所** (北2東4 サッポロファクトリー2条館4階) へ

納税課

市税証明・口座振替 ☎ 211-3912
法人の収納担当 ☎ 211-3074
納税相談担当 ☎ 211-3913

市民税課

個人の
市・道民税担当 ☎ 211-3914
特別徴収担当 ☎ 211-3075

諸税課

法人市民税担当 ☎ 211-3071
事業所税担当 ☎ 211-3073
軽自動車税担当 ☎ 211-3076

固定資産税課

土地担当 ☎ 211-3917
家屋担当 ☎ 211-3918
償却資産担当 ☎ 211-3079

市長と語ろう！中央区のまちづくり

住みよいまちづくりに向けて、区民と市長がじっくりと意見交換する「ふらっとホーム」。中央区では平成24年10月13日に中央保健センター（南3西11）で「ふらっとホーム2012in中央区」を開催しました。



これまでにいただいたご意見により、区役所1階ロビーに「子ども情報スペース」を設け、絵本の読み聞かせを行うという具体的な取り組みに結びついた事例もあります。

今月号では、参加いただいた8人の方々からの貴重なご意見・ご提案と、それに対する上田市長などからの回答を、テーマごとにご紹介します。

テーマ

市電など公共交通に関すること

使いやすく採算の取れる市電を



土屋さん（60歳）

代）今後の市電については、例えば自転車を乗せて行き来できるようなにするなど利便性を高くし、採算性を考えた取り組みをしてもらいたいと思います。



上田市長

ループ化によって非常に使い勝手が良くなり、観光客にも喜んでもらえると思います。ですので、多くの方に乗ってもらえるようしっかり取り組んでいきます。自転車については、想定している電車のサイズではちょっと難しいかなと思います。そのような面白い発想で、このまちをもっと楽しくしていきたいと思っています。

段差の無い安全な車両を

中村さん（60歳代） 電車の乗り降りの際に段差が怖



新しい車両を入

いと思うことがありますが、新しい車両を入れる際には段差の少ないものにしてほしいと思います。



岸中央区長

25年度、低床の新しい車両を導入し、安全に運行できるかを検証してから台数を増やしていく予定です。6月からはSAPICAも市電で使える予定です。

利用しやすい電停に



石川さん（60歳代）

横断歩道に接していないため、視覚障がいのある方、車いすの方、高齢者などが利用しにくい電停があります。交通局に申し入れをしたところ「電停の改修は道路の拡張事業と連携して計画的に行う」とのことでしたが、今すぐでき

テーマ

地域における保健・福祉・医療のあり方

ることとしてカラーで横断歩道をつくったり、弱者に優しい特殊な信号機を付けられないかということをお願いしたいと思います。



平成25年度導入予定の新型低床車両
バリアフリー対応で定員も2割増えます。

やる努力をしていきたいと思えます。

ご近所との交流が大切



高橋さん（80歳代）

のご意見などについては本誌6・7ページに掲載しております。

福祉情報の発信充実を



遠藤さん（30歳代）

高齢者・障がいのある方やその家族などに最寄りの福祉施設が行っているサービスや、お手伝いを

したいという方へのボランティア講座などを周知する方法を考えてほしいと思います。

上田市長 コールセンターを利用していただいたり、市内に87カ所あるまちづくりセンターに困り事を言っていたりすれば情報の整理や接続が可能だと思います。これらの機能については多くの市民の皆さまに知ってもらい努力をもっとしながら、みんなで支え合って安心できるまちにしたいと思えます。

子育てや子どもに関する教育について

学校のアレルギー対策は？



本多さん(30歳)
代) アトピー

と卵アレルギーの子どもがいるのですが、小中学校給食のアレルギーへの対策はどのようになっているのでしょうか。



花田さん(50歳)
代) 緑が豊か

で文化的な環境を生かした、オリジナルの発想力を高める札幌ならではの教育が大切だと思います。

上田市長 私も大賛成です。

札幌市の教育目標にある読書・環境・雪という三つの視点は発想力の基本になると思います。人とのコミュニケーション能力を鍛え、大人になっても自分で学んでいく力を大事にしていこうと頑張っています。

まちづくりに関するイベント

本当の文化が根付くまちへ



中山さん(60歳)
代) 札幌は素

晴らしいまちななっていると思いますが、庶民に根付いた文化に根付いた文化というものがどうも見られないと思います。ヨーロッパのように公共・文化の意識が根付いた、本当の文化、大人のまちという理想を描いて近づけていく意識を行政に持ってほしいと思います。

上田市長 私は5代目の札幌市長として「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」という理念を掲げ、前の世代がつくってきたものを有効に活用し、多くの方々に文化的な共感が生まれるまちにしていこうと呼び掛けています。札幌のまちは本当にいろいろなことをやっていますので、それらの活動が100年続けば、ヨーロッパに負けないまちななるのではないかと思います。共に夢を語らせていただきたいと思います。



旭山記念公園から望む中央区の街並み
100年後はどのような姿でしょうか。

司会の沖館さんから皆さんへ

毎年、皆さんのまちづくりに関する真剣なご意見を聞いて非常に刺激を受けておりまして、とても楽しみにしています。

日頃の考えを直接市長に話すことのできるめったにない機会ですので、もしお手元にご案内が届きましたらぜひ参加してみてくださいはいかがでしょうか。

沖館葉子さん：フリーパーソナリティー。中央区ふらっとホームの司会を前身のタウントークから通算5回担当。



～「ふらっとホーム」に参加して～

土屋さん 広報誌に掲載されている研修会などに出るようにしてさらに自己啓発し、いろいろな人に伝えていきたいと思っています。

中村さん 広報誌を見ていてもなかなか分からないことが分かったことがよかったな、安心できるなと思いました。

石川さん 今回も話のあった孤独死や生活保護の問題を踏まえ、いろいろな相談に乗る札幌型の「共生委員」をつくったらよいのではないのでしょうか。

高橋さん 参加してよかったです。西老人福祉センターの職員の対応がとてもよいとお伝えして、満足して帰ります。

遠藤さん 福祉の活動が札幌市はこんなに充実している、ということを私からも発信していこうと思いました。

本多さん アレルギーの問題では世代のギャップを感じましたが、勉強を重ねて訴えられることは訴えていきたいと思っています。

花田さん 札幌市の短い歴史の中で、箱物をつくったり道路整備をしてきたという一つの歴史の流れを感じられたのがよかったです。

中山さん 行政に携わるのは大変なことだと思いますが、今後も頑張っていて立派なまちにしていきたいと思います。

記事に関するお問い合わせ
総務企画課広聴係
☎ (205) 32116 FAX (231) 6539
「ふらっとホーム」に関するお問い合わせ
☎ (211) 2045 FAX (218) 5165
市長政策室市民の声を聞く課



全員で記念撮影。ご参加ありがとうございました。

情報 オアシス

区役所関連施設の電話番号は、区民のページ「ちゅうおう」中央1ページをご覧ください。

3月11日からの内容です

消すまでは 出ない行かない 離れない

中央区の人口と世帯数

平成25年2月1日現在

人口	227,654人 (前月比+41)
男	103,041人
女	124,613人
世帯数	126,449世帯 (前月比+1)

国民健康保険料の減免と夜間延長について

3月末は平成24年度国民健康保険料第10期分の納期限です。納め忘れないようお願いします。

なお、平成24年中の所得が、失業などにより前年と比べて大幅に減少し、保険料の納付が困難になった方は、申請により保険料が減免になる場合があります。平成24年中の世帯全員の収入を証明する書類（確定申告書控・源泉徴収票・給与明細など）を持参の上、ご相談ください。

また、平日の17時15分までに区役所へ納付相談にお越しにならない方に対して、夜間延長を行いますのでご利用ください。

▽夜間延長 3月27日(水)、28日(木)の20時まで。
※夜間延長は、庁舎南側玄関

交通事故発生件数

(概数)

	発生件数	死者数	傷者数
中央区	192 (+19)	0 (0)	215 (+15)
札幌市	968 (+29)	1 (-2)	1,116 (+12)

※平成25年累計・2月19日現在。
() は前年比

からお入りください。
係 (詳細) 保険年金課収納一・二
係 (205) 3343

ダンボール・新聞・雑誌の排出について



平成23年4月から「ダンボール・新聞・雑誌」の古紙三品目はごみステーションに排出ができなくなり、集団資源回収や回収拠点（古紙回収ボックス・古紙回収協力店など）を利用していただいております。春は引っ越しなどでダンボールなどが家庭から大量に出る時期ですので、集団資源回収・回収拠点のご利用をお願いします。

なお、区役所などで配布中のごみ分けガイドには、資源

物の回収拠点一覧の記載がありますのでご利用ください。
係 (詳細) 中央清掃事務所
係 (581) 1153

川への雪捨てや、川に近づくとはやめましょう

川に雪を捨てると流れが悪くなり、水があふれる原因になりますので、雪を捨てないようにしましょう。

また、川やその周辺の雪や氷は崩れやすく危険ですので、近づくのはやめましょう。
係 (詳細) 建設局河川管理課
係 (818) 3415

地区センター図書室

からのお知らせ

▽内容 ボランティア団体「雪わたりの会」による絵本の読み聞かせ。

▽日時 毎月第3火曜日の11時～11時30分。



▽会場 旭山公園通地区センター（南9西18）。

▽対象 乳児から就学前のお子さんと保護者。

▽費用・申込 無料・不要。
係 (詳細) 旭山公園通地区センター
係 (520) 1700

中央老人福祉センターからのお知らせ

自由参加講座

▽日程等 左表の通り。
▽対象 市内在住の満60歳以上の方。

▽受講料 無料。

▽申込 不要。開講日時に合わせてセンター登録証を持参の上、本人が直接同センターへ。開講日が変更となる場合がありますので、詳しくは同センターへお問い合わせください。
係 (詳細) 中央老人福祉センター（大通西19・社会福祉総合センター12階）
係 (614) 1001

中央老人福祉センター自由参加講座

講座名	開講日	時間
カラオケ	第1・2・3月曜日	13時～15時
健康表現体操	第1・3月曜日	13時15分～15時
フラダンス	第2・4月曜日	13時～15時
スポーツダンス	第1・2・3火曜日	10時～12時
民謡	第1・2・3水曜日	10時～12時
日本舞踊（西崎流）	第1・3木曜日	10時～12時
日本舞踊（泉流）	第2・4金曜日	13時～15時
なつかしの歌ごえ	月1回不定期開催	10時～12時 または13時～15時
コントラクトブリッジ（トランプを用いたゲーム）	第1を除く毎週土曜日	13時～15時

「事故を起さない・事故に遭わない」という意識を持って運転しましょう。

中央区広報PR用ロゴデザインが決定

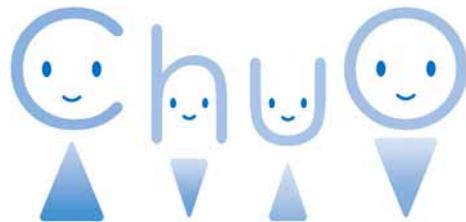
広報さっぽろ1月号で投票を呼び掛けました「中央区広報PR用ロゴデザイン」につきましては、総数521通の投票をいただきました。

集計の結果、鈴木理恵さん（専門学校札幌デザイナー学院）が制作した右の作品（広報さっぽろ1月号ではB）が最優秀作品に選ばれました。

新しいロゴデザインは、来月号から「広報さっぽろ区民のページ」表紙に登場します。

また、投票に併せて広報さっぽろに対する貴重なご意見・ご感想も多数いただきありがとうございました。

（詳細） 総務企画課広聴係 ☎205-3216



税の申告はお済みですか！？

住民税（市・道民税）・所得税・贈与税・消費税および地方消費税の相談と申告書の受け付けを下表の通り行っています。お早めに申告してください。

区分	住民税の申告（市・道民税） ※所得税申告済みの方は不要。	区分	所得税・贈与税の申告と納税	消費税および地方消費税の申告と納税 （個人事業者）
会場	中央市税事務所 （北2東4 サッポロファクトリー2条館4階）	会場	札幌中税務署（大通西10 札幌第二合同庁舎） 札幌西税務署（西区発寒4-1）	
期間および時間	3月1日(金)～15日(金) 8時45分～17時15分 ※土・日曜は休みです。 ※期間初日は混雑します。 ※上記期間以前でも住民税申告の受け付けを行います。	期間および時間	3月15日(金)まで 9時～17時 ※各会場とも土・日曜、祝日は休みです。 ※例年、受け付け最終日は大変混雑します。 ※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。	4月1日(月)まで 9時～17時
詳細	中央市税事務所 市民税課市民税係 ☎211-3914	詳細	札幌中税務署 ☎231-9311 札幌西税務署 ☎666-5111 ※自動音声案内に従ってお問い合わせください。	<p>部分の中税務署、それ以外の中央区の方は西税務署が管轄です。</p>

申告の際には、源泉徴収票や社会保険料・生命保険料・医療費などの証明書（領収書）など、申告に必要な書類を忘れずにお持ちください。確定申告書は「前年の申告書控え」や「確定申告の手引き」などを参考にご自分で作成し、お早めに提出されるようお願いいたします。

※税務署から「確定申告のお知らせ」（はがきまたは封書）が届いている方は、こちらもお持ちください。

※国税庁ホームページ（<http://www.nta.go.jp/>）の「確定申告書等作成コーナー」を利用すると確定申告書が簡単に自宅で作成できます。作成した確定申告書は、印刷して郵送などにより提出できるほか、そのまま「e-Tax」で送信することができます。詳しくは国税庁ホームページを参照してください。

※平成24年分から贈与税の申告も「e-Tax」で送信できるようになりました。

●公的年金等を受給されている方へ

公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には、所得税の確定申告をする必要がありません。

◆この場合であっても、所得税の還付を受けるための確定申告書を提出することができます。

◆公的年金等に係る雑所得以外の所得があり、その所得金額が20万円以下で所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。住民税に関することは中央市税事務所までお問い合わせください。

3月11日からの内容です

融雪期に入ります。車の走行や歩行には十分注意しましょう。

中央区民講座

新発見！円山動物園の

楽しみ方 パート12

～新施設

「わくわくアジアゾーン」

について

▽内容 動物園センター内にて、わくわくアジアゾーンについての解説を行った後、実際に施設内やバックヤードを見学します。

▽日時 3月21日(木)13時30分～15時(13時20分より動物園センターで受け付け)。

▽会場 円山動物園(宮ヶ丘3)。

▽対象 区内在住か在勤の15歳以上の方(中学生を除く)。

▽定員・受講料 15人・700円。

※入園料、現地までの交通費は、各自負担となります。

▽申込 3月11日(月)～17日(日)の9時30分～17時に中央区民センター1階窓口(南2西10)か電話で(土・日曜可)。先着順。

※定員に満たない場合は、申し込み期間を過ぎても受け付けます。また、申し込みが少ないときは講座を中止する場合があります。

※受講料は、申し込み期間中にお支払ください。また、納入された受講料の払い戻しはできません。

申し込み期間中にお支払ください。また、納入された受講料の払い戻しはできません。

申込・詳細 中央区民センター運営委員会 ☎(271) 1100

近所先生企画講座

ペーパークイリングで

ハンドメイド

～楽しくかわいい紙小物を作りましょう！～(全5回)



▽日時 5月20日～6月17日の毎週月曜日18時45分～20時

45分(5月13日(月)にオリエンテーションを行います)。

▽会場 中央区民センター2階創造の部屋(南2西10)。

▽定員 20人。

▽費用 3千円(受講料)、2千円(材料費)。

▽申込 3月25日(月)必着で、

①講座名②郵便番号・住所③氏名(フリガナ)④年齢⑤電話番号を記載の上、ファックス、がき、または生涯学習センターへ直接。多数時抽選。

申込詳細 生涯学習センター事業課(〒063 0051 西区宮の沢1-1-1) ☎(671) 2331

☎(671) 2331

中央保健センターからのお知らせ (健康guide) ガイド

申込・詳細 健康・子ども課健康や推進係 ☎060-0063 南3西11 ☎511-7221

【胃がん・大腸がん検診】

保健センターでは毎月1回、予約制で胃がん検診(バリウム検査)と大腸がん検診(便潜血検査)を行っています。

◆検診日・受付時間 4月～平成26年3月は、毎月第2木曜日の8時45分～10時。

◆会場 中央保健センター1階(南3西11)。

◆対象 職場などで検診を受ける機会のない40歳以上の市内在住の方。

※検診は、年1回で前回検診よりおおむね1年経過で受診可能。

◆費用 胃がん検診:700円、大腸がん検診:400円。

ただし、次の方は検診費用が免除されます。各証明書類をご持参ください。

①70歳以上の方:健康保険証など年齢を確認できる公的書類。

②65～69歳で後期高齢者医療制度にご加入の方:被保険者証。

③生活保護世帯の方:生活保護受給証明書。

④支援給付世帯の方:本人確認証。

⑤市・道民税非課税世帯の方

下記ア・イのいずれか1つ。

ア)市・道民税課税証明書(18歳未満を除く世帯員全員分)。

イ)介護保険料納入通知書(保険料段階が第1段階・第2段階・第3段階のもの)。

◆持ち物 健康保険証や運転免許証など氏名・年齢・住所が確認できる公的証明書類、胃・大腸がん検診受診票、採便容器(大腸がん検診を申し込みされた方)、費用免除対象者は、各証明書類。

◆申込 それぞれ希望日の10日前までに電話でお申し込みください。



元気カフェ「本の森」が

オープンしました

障がいのある方が働く元気カフェ「本の森」が2月1日(金)中央図書館(南22西13)にオープンしました。コーヒーやソフトドリンクのほか、障がいのある方が通う施設で作られたクッキーやパンなどを販売しています。ぜひ、お気軽にご利用ください。

◆場所 中央図書館1階ロビー(☎513-0260)。

◆営業時間 10時～17時(ラストオーダー16時30分)。

◆定休日 中央図書館休館日(毎月第2・4水曜日、蔵書一斉点検期間)。

【詳細】保健福祉局障がい福祉課 ☎211-2936



クーポン

ツルツル路面での転倒事故防止のため、「砂箱」の砂を「自由にお使いください」。砂まきにご協力を!

油断大敵

インフルエンザ・ノロウイルスに注意しましょう!

今年もインフルエンザやノロウイルスが流行していますので、予防を心掛けましょう。日々の手洗い、うがいをしっかりとすることが大切です。

◆手洗いのタイミング



食事の前



調理の前、調理中
何かを触った後



外から帰って
きたとき



トイレの後



このようなときのほか、動物を触った後、オムツ換えの後などにも手を洗いましょう。

◀「しろくま忍者の手あいソング」でお子さんと一緒に手洗いをしましょう!

動画はこちらから!!

<http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/tearaisong/index.html>

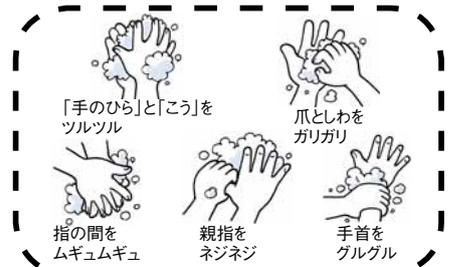
◆手洗いの手順



水で流す。



せっけんを泡立てる。



最後によくすすいで、きれいなタオルなどで拭いて出来上がり。

子育て掲示板

～子育てに役立つ情報を提供するコーナーです～

(詳細) 健康・子ども課子育て支援係
〒060-0063 南3西11 ☎511-6399

【絵本リサイクル】

家庭で眠っている絵本を譲っていただき、区内の保育所・幼稚園・子育てサロンなどで乳幼児期から絵本に親しむ環境づくりに活用します。

◆本の種類 乳幼児向け絵本(汚れや破れのないもの)。※図鑑・月刊誌は対象外です。

◆受付場所 健康・子ども課子育て支援係に直接(南3西11 中央保健センター2階4番窓口)。

◆受付期間 3月11日(月)～18日(月)の8時45分～17時15分(土・日曜を除く)。



【子育てサロンに遊びにきませんか】

親子が自由に集い交流できる場です。お子さんと一緒に気軽に参加し、楽しく交流しましょう。

◆会場等 区内の子育てサロンの日程や会場などは、中央保健センターや中央区役所で一覧表を配布しています。また、中央区役所の公式ホームページからもご覧いただけます。

札幌市中央区 子育てサロン

検索

<http://www.city.sapporo.jp/chuo/kosodate/kosodatesaron.html>

※開催日時は変更になる場合がありますので事前にご確認ください。

◆対象 0歳～就学前のお子さんとその保護者。これからお父さんお母さんになる方。地域にお住まいの方。

◆費用・申込 無料・不要。当日、直接会場へ。

広告



万が一に備えて (1/28)

山鼻会館（南23西10）において冬の震災体験が行われ、地域住民など約60人が参加しました。参加者は、竹の棒などを使って落雪で雪山に埋もれた人を救出する訓練や煙道通過訓練、心肺蘇生法などを体験し、日頃から助け合う心の大切さを話し合っていました。



雪を彩る光の華 (2/8)

中島公園内9条広場においてゆきあかりin中島公園の点灯式が行われました。この日はあいにくの雪と風でしたが、地域の子もたちなど約20人がスノーキャンドルに火をともし、柔らかな光が揺らめき、辺りは幻想的な雰囲気に包まれました。



楽しいね！大倉山 (2/10)



大倉山ジャンプ競技場（宮の森1274）において中央区ウインタースポーツフェスタin大倉山が開催され、たくさんの市民や観光客が冬の大倉山を満喫しました。ジャンプ台脇の600段以上もある階段を歩いて上るツアーや、ランディングバーンを豪快に滑り降りるチューブ滑りなど、参加者の歓声が絶えない1日でした。

